

# 川越地区消防組合防火服仕様書

## 第1 総則

- 1 この仕様書は川越地区消防組合が購入する消防吏員用の防火服について定めたものである。
- 2 この防火服に使用する材料及び付属品は、全般にわたって十分検査が実施され、この仕様書を全て満たすものでなければならない。  
また、本仕様書の細部及びその他について疑義がある場合は、当消防局担当者の指示を受けること。
- 3 令和4年3月に総務省消防庁より示されている「消防隊員用個人防火装備に係るガイドライン」(消防隊員用個人防火装備のあり方に関する検討会報告書)に準ずる物品を納入すること。

## 第2 品名及び数量

防火服上衣（しころ、補助ポケット付き）	80着
防火服ズボン	80本

## 第3 納入期限

令和6年10月31日（木）

## 第4 納入場所

川越地区消防局総務課  
川越市神明町48番地4

## 第5 納入方法

個人ごとに所属別に振り分けて納入すること。

## 第6 条件

この防火服は本仕様書ならびにその追補によるものとする。なお、受注者は下記に掲げる事項について誠意をもってあたること。

- (1) 契約締結後、速やかに紡績メーカーの品質証明書を提示し、当組合の承認を受けること。
- (2) 当組合が指定する期間に採寸を行ない、サイズの調整を行うこと。
- (3) 納品検査時に手直しのある時は速やかに行なうこと。
- (4) 本仕様書に定めのない事項及び本仕様書の解釈に疑義が生じた場合は、その都度、当組合担当者と協議のうえ、解決にあたること。

## 第7 概要

この防火服は、外衣と內衣からなる多層構造とし、立体デザインの上衣とサスペンダー付きズボンとする。

## 第8 使用材料

### 1 外衣生地（上衣／ズボン／しころ共）

紺色、ゴールド色、どちらも素材はメタ系芳香族ポリアミド繊維、パラ系芳香族ポリアミド繊維、PBO繊維の三者を混紡した生地とし、規格は【別表1】の項目を満たすものとする。

### 2 內衣

#### （1）透湿防水層（上衣／ズボン／しころ共）

素材は芳香族ポリアミド繊維生地にフッ素樹脂多孔質フィルム加工したものとし、規格は【別表2】內衣の項目を満たすものとする。

#### （2）断熱層（上衣用）

素材は芳香族ポリアミド繊維生地に芳香族ポリアミド繊維の糸をストライプ状に配置した形状とし、空気層を有効に得られる構造とし、【別表2】內衣の項目を満たすものとする。

#### （3）断熱層（ズボン／しころ共）

素材はアラミド繊維を主体とする生地を使用する。【別表2】內衣の項目を満たすものとする。

#### （4）補助材料

上衣、補助材料は、【別表3】補助材料の項目とする。

ズボン、補助材料は、【別表4】補助材料の項目とする。

## 第9 縫製

### 1 全般

（1）縫製は、防火服としての強度を確保できるものとする。

（2）糸調子等は、良好であるものとする。

## 第10 上衣

### 1 条件

（1）消防活動に適した作業性と安全性を十分に確保するため、着用者が腕を上方に引き上げた時でも、防火上衣全体が上方へ引き上げられず、スムーズに運動できるデザインであること。

### 2 サイズ及び形状

（1）サイズは【別表5】とし、形状は【別図1】のとおりとする。

### 3 身頃

（1）身頃は、左右前身頃各1枚と後身頃1枚をほぼ台形状の肩部において、連結させる構造とする。

（2）前合わせはファスナーと面ファスナーを用いた開閉式とする。但し、取っ手を付けるなど、容易に着脱できる処置をすること。

（3）肩当てパットは、両肩部にパラ系芳香族ポリアミド繊維100%のフェルトの肩当てを外衣共布に挟み、縫いつける。

### 4 袖

（1）左右袖は、外袖、内袖、マチ部及び袖口返しにより構成する。なお、マチ部により、左右肩一端部と、左右前身頃、後身頃と、立体的に湾曲に形成された筒状の袖が連結され、両袖を上方へ引き上げた時に、前身頃、及び後身頃が上方へずり上がらない構造のいわゆるY

ライン袖付けとする。

- (2) 左袖に部隊表示ワッペン貼付け用の面ファスナー受けをH7.5cm×W16cmの大きさに縫付ける。その上に所属記号ワッペンを貼付け用面ファスナーを直径9cmの大きさに縫付ける。

#### 5 衿

- (1) 表裏外衣共布を用い、耐熱ゴム引布を芯地にする。
- (2) 衿中央部内側に十分な強度をもった衿吊りを取り付ける。

#### 6 吊り下げ用小D環

- (1) 身頃両胸、両脇に、吊り下げ用小D環を取り付ける

#### 7 ポケット

- (1) ポケットは、ふうきんを付けた雨ぶた付きアウトポケットとし、左右身頃に平行に取り付ける。
- (2) 底部には、水抜き用ハトメを取り付ける。
- (3) 雨ぶた止めは、面ファスナーとする。
- (4) 左右胸ポケットは3方マチとし、雨蓋は1対1の2分割で縫い付ける。
- (5) 左右裾ポケットは2方マチとし、雨蓋は分割なしで縫い付ける。
- (6) 左右裾ポケット内部にフックを縫い付ける。

#### 8 反射布

- (1) 左右胸、裾、袖、背中の表面に各々縫い付ける。【別図1】参照
- (2) 袖、肩部に反射材をパイピングする。【別図1】参照

#### 9 標示布

- (1) 外衣の左ポケット裏に標示布を縫い付ける。

#### 10 消防名表示

- (1) 背上部、裾部に【別図2】の通りの文字を印刷する。
- (2) 袖

#### 11 內衣

- (1) 內衣はファスナーで着脱できる物とする。
- (2) 身頃は、左右前身頃、後身頃及び左右肩部から構成する。
- (3) 袖は、上袖、下袖及びマチ部から構成する。
- (4) 袖先には、ジャージを取り付ける。
- (5) 袖先部に、外衣袖口部と面ファスナーにて取り付ける防水布を縫い付ける。
- (6) 防水層の縫い目は目止め加工を施す。

#### 12 ペットボトル収納袋

- (1) ペットボトルが入る大きさの補助ポケットを紺色共生地にて、作成し1着につき2袋同梱する。
- (2) ペットボトル収納袋の背面は、フックに掛けられる構造とし、その下に面ファスナー受けを縫いつける。
- (3) 上衣背面裾部にペットボトル収納袋用のフックと面ファスナーを左右に縫い付ける。【別図1】参照

### 1 3 補強布

- (1) 肩部、袖口部に補強布を縫付ける事。【別図1】参照

## 第1 1 ズボン

### 1 条件

- (1) 消防活動に適した作業性と安全性を十分に確保するため、着用者が膝の上下、屈伸運動をした時でも、膝部の抵抗が少なく、腰部のずれ下がりが無いこと。

### 2 サイズ及び形状

サイズは【別表6】とし、形状は【別図3】とする。

### 3 身頃

- (1) 腰部及び、左右上脚部、左右下脚部を有し、左右上脚部の筒状のものと、左右下脚部の筒状のものを連結させた構造とする。なお、尻部には脚曲げのための、余裕を確保し、連結部分には膝曲げのための余裕を取ったものであること。更に股下は、バイヤス方向にマチ部を取り、運動性を高める構造とする。

- (2) 前立ては、縫い付け押しホックと面ファスナー止めとする。

- (3) 裾の外脇に長さ約33cmのファスナーを縫い付け、裏に水切り用として共布を縫い付ける。

### 4 ウエストベルト

- (1) ウエストベルトは本体部の腰部ほぼ全周を包む縫い付け式のベルトとする。なお、ベルトは、後部のコキ尾錠により、長さを自由に調整出来るものとする。

### 5 安全帯通し

- (1) 腰部に、計5ヶ所、共布3枚重ねで縫い付ける。前側2か所縫い付けた後、押しホックを上側2か所に取り付けるものとする。

### 6 ポケット

- (1) 左ポケットは、3方マチとし、雨蓋は1対1の割合で2分割とする。ふうきんを付けた雨ぶた付アウトポケットとする。【別図3】参照

- (2) 右ポケットは、2方マチとし、雨蓋は分割なしとする。

- (3) 底部には、水抜き用ハトメを取り付ける。

- (4) 雨ぶた止めは、面ファスナーとする。

### 7 反射布

裾口に反射布を縫い付ける。【別図3】参照

### 8 サスペンダー

サスペンダーは取り外し出来るものとする。

### 9 內衣

- (1) 外衣と內衣は、各々縫製後、胴回り一周と前立て及び裾口とで縫い合わせ一体とする。

- (2) 內衣身頃は、膝部での切替えとする。切替えより上部は、左右前身頃、左右後身頃から構成する。切替えより下部は、前身頃、後身頃から構成する。

- (3) 內衣、左前身頃上部に標示布を縫い付ける。

- (4) 防水層の縫い目は、目止め加工を施す。

## 1 0 カラビナフック

- (1) 墜落静止器具のカラビナが掛けられるフックをゴールド生地にて作成し左右に縫い付ける。【別図3】参照

## 第12 しころ

### 1 条件

防火帽に直接取り付けるものとし、顔面部と首部を保護し、頭部を動かしても肌の露出の無い様にする

### 2 サイズ及び形状

サイズはワンサイズのみとし形状等は、【別図4】のとおりとする。

### 3 構造

- (1) 表生地・裏生地各々1枚裁ちとし重ね合わせ、見返しは表地共布とする。
- (2) 前面は、面ファスナーでとめる。
- (3) 帽体取り付け用に押しホックを用いる。
- (4) 前面は、折り返して面ファスナーにて固定出来るものとする。
- (5) しころの周囲は、共布で縁取りをする。
- (6) しころ左右側面に所属記号ワッペン貼付け用面ファスナーを直径7cmの大きさに縫付ける。

外 衣・しころ 規 格

【別表 1】

項目	仕様規格等		試験方法
構成	紺、ゴールド色生地部 メタ系芳香族ポリアミド繊維とパラ系芳香族ポリアミド繊維の混紡生地に、パラ系ポリアミド繊維と PBO 繊維の混紡糸を格子状に入れたもの		—
混用率	紺、ゴールド色地組織部 メタ系芳香族ポリアミド繊維 パラ系芳香族ポリアミド繊維 PBO 繊維	40%以上 9%以上	JIS L 1030 (標準)
使用番手	紺色地組織部 たて・よこ共 30/2 格子部 たて・よこ共 30/2		JIS L 1096
組織	斜文織		JIS L 1096
密度 (本/2.54cm)	たて 45 本以上 よこ 30 本以上		JIS L 1096
燃焼性	残炎時間	1 秒以下	JIS L 1091 A-1 法 45° 法
	燃焼面積	1 cm <sup>2</sup> 以下	
	火炎が試験片の上端・両端に伝播したか	達しない	ISO11999-3 TYPE2 ISO15025 B 法 4.17.3 前処理後
	熔融滴下物の有無	なし	
	残炎時間	1 秒以下	
	炭化長	3 cm 以下	
	残じんが炭化した部を超えて伝播したか	しない	
引張強度	たて 2,000N以上 よこ 1,500N以上		JIS L 1096 A 法 ハルトストリップ 法 引張速度：20 cm/min つかみ間隔：20 cm 試験機：定速伸長形
引裂強度	たて 200N以上 よこ 150N以上		JIS L 1096 A-1 法 シングルツング 法 試料幅：5 cm 引張速度：10 cm/min
シーム強度	225N以上		JIS L 1093 : A-3 法
染色堅牢度	耐光 (変退色)		2 級以上
染色堅牢度	洗濯 (変退色)		4 級以上
染色堅牢度 色相	洗濯 (汚染)		4 級以上
染色堅牢度 色相	汗 (酸性 変退)		4 級以上
染色堅牢度 色相	汗 (酸性 汚染)		4 級以上
染色堅牢度 色相	汗 (アルカリ性 変退)		4 級以上
染色堅牢度 色相	汗 (アルカリ性 汚染)		4 級以上

## 內衣の規格

【別表 2】

試験項目	試験方法	規 格		
		防水層	上衣断熱層	ズボン/しころ共断熱層
重 量	J I S - L - 1 0 9 6	1 6 0 g/m <sup>2</sup> 以下	2 2 0 g/m <sup>2</sup> 以下	1 5 0 g/m <sup>2</sup> 以下
引張強度	JIS-L-1096 ラベルスリップ法 試料幅 5cm 引張速度 20cm/min つかみ間隔 20cm 試験機 定速伸長形	たて 450N以上 よこ 450N以上	たて 450N以上 よこ 450N以上	たて 450N以上 よこ 450N以上
引裂強度	J I S - L - 1 0 9 6 シングルタンク法	たて 25N以上 よこ 25N以上	たて 20N以上 よこ 20N以上	たて 20N以上 よこ 20N以上
燃 焼 性	J I S - L - 1 0 9 1 A-1法	残炎 1秒以下 残じん 1秒以下 炭化面積 15cm <sup>2</sup> 以下	残炎 1秒以下 残じん 1秒以下 炭化面積 15cm <sup>2</sup> 以下	残炎 2秒以下 残じん 2秒以下 炭化面積 15cm <sup>2</sup> 以下
耐水度	J I S - L - 1 0 9 2 B法 洗濯方法 J I S - L - 0 2 1 7 103法	初期 300kpa 以上 20回洗濯後 300kpa 以上		
透湿度	J I S - L - 1 0 9 9 B-2法	600g/m <sup>2</sup> ・h 以上		

## 防火上衣 補助材料

【別表 3】

区分	品 名	規 格	用 途
補 助 材 料	面ファスナー	黒色 幅 50mm	衿止め、內衣取付用 (裾部)
	面ファスナー	黒色 幅 38mm	ポケット (雨ぶた止め用)
	オープン ファスナー	長さ40cm 樹脂製	前合わせ
	耐熱ゴム引布	基布にアルミニウム粉末を混入した合成ゴムを 片面加工	衿 芯
	フェルト	パラ系全芳香族ポリアミド100% 280g/m <sup>2</sup> 標準	肩当てパット
	ジャージ	芳香族ポリアミド 濃紺色	内袖用
	反 射 布	3Mオレンジグレー75mm巾 50mm巾	左右胸部 裾回一周 両 袖
	D 環	金属製小環	左右両脇腹部
	座付ハトメ	#500	ポケット 水抜き用
	標 示 布	白キャラコ	標示布
縫 製 糸	芳香族ポリアミド 30番 芳香族ポリアミド 40番 生成色、紺又は黒色	ほつれ止めを除く	



## 防火ズボン 補助材料

【別表4】

区分	品名	規 格	用 途
補 助 材 料	サスペンダー	H型グレーサスペンダー	サスペンダー
	留め ファスナー	長さ33cm 金属製	裾ファスナー
	面ファスナー	黒色 幅 50mm	ポケット 前立て
	ナイロンバンド	黒色 幅 3cm以上	ウエストベルト
	D 環	黒色樹脂製	ウエストベルト
	押しホック	#7050 黄銅製ニッケルメッキ	前合わせ 內衣胴回り止 內衣裾止
	ボ タ ン	黄銅製ニッケルメッキ	サスペンダー 取付用
	座付ハトメ	#500	ポケット 水抜き用
	反 射 布	3M オレンジグレー75mm巾	裾回一周
	標 示 布	白キャラコ	標示布
縫 製 糸	芳香族ポリアミド 30番 芳香族ポリアミド 40番	ほつれ止めを除く	

# 防火上衣サイズ表

【別表5】

単位：cm

	前丈	胸囲	衿丈	袖口幅	適応身長
S	65	116	77	16	160～165
M	68	120	80	16	165～170
L	72	124	83	16	170～175
LL	76	130	86	16	175～180
3L	80	136	89	16	180以上

許容差 +2、-1

サイズ表に当てはまらない場合は別途、打ち合わせする事。

## 防火ズボンサイズ表

【別表6】

単位:cm

		総丈	股下	胴廻	裾口幅	適応身長
S	-60	88	60	83	21.0	160~165
M	-65	94	65	89	21.5	165~170
	-70	99	70			
	-75	104	75			
L	-65	95	65	94	22.0	170~175
	-70	100	70			
	-75	105	75			
LL	-65	96	65	104	22.5	175~180
	-70	101	70			
	-75	106	75			
3L	-65	97	65	110	23.0	180以上
	-70	102	70			
	-75	107	75			

許容差 +2、-1

サイズ表に当てはまらない場合は別途、打ち合わせする事。

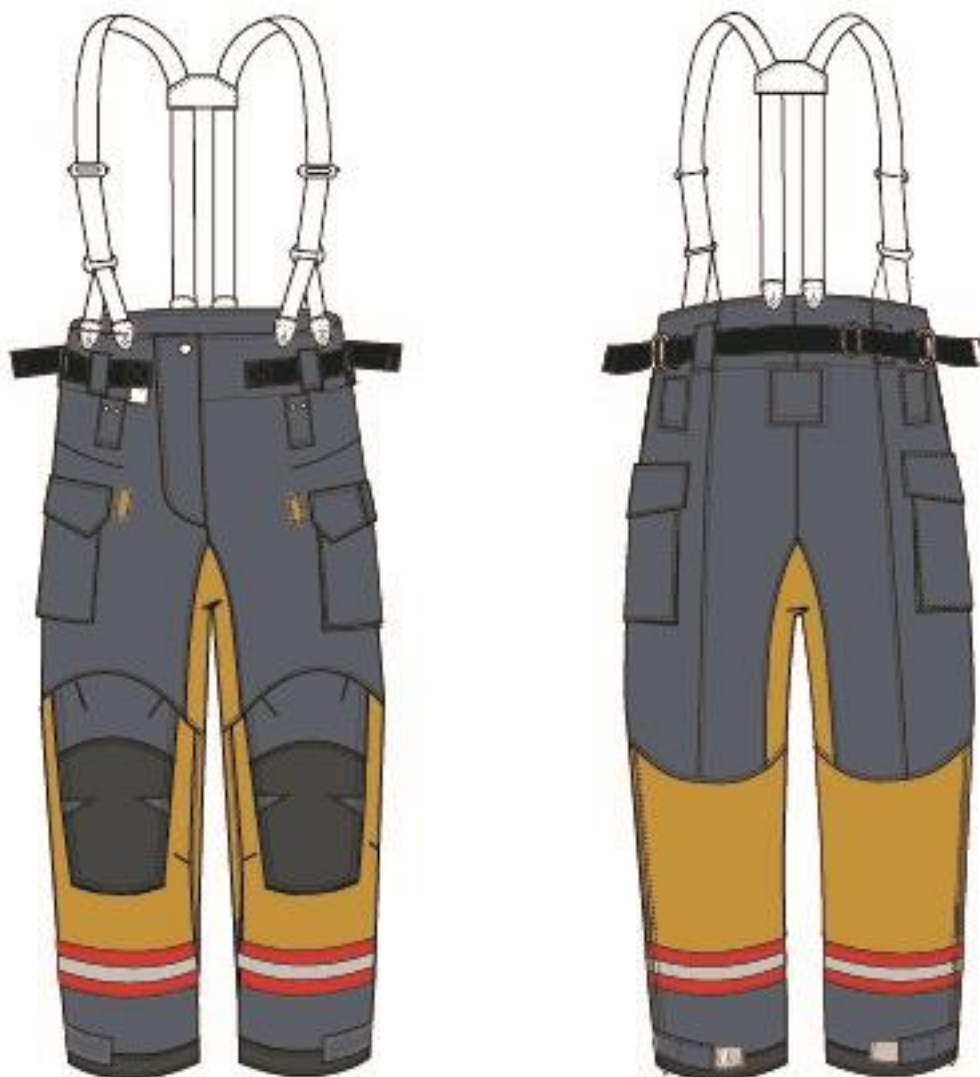
【別図 1】



【別図 2】



【別図 3】



【別図 4】



## 防火服用腕章（隊表示）仕様書

この仕様書は、川越地区消防組合が購入する防火服用腕章（隊表示）について定める。

### 1 総 則

- (1) 購入数 80枚（消防隊80枚、救助隊0枚、指揮隊0枚、調査0枚）
- (2) 納入期限 令和6年10月31日（木）
- (3) 納入場所 消防局総務課
- (4) 納入方法 防火服一着につき一枚を同梱すること。

### 2 使用材料

- (1) 生地種類 パラ系アラミド繊維 メタ系アラミド繊維 PBO 繊維を混紡した生地とする。  
※レッド色はメタ系アラミド繊維とパラ系アラミド繊維とする
- (2) 組 織 特殊2重織
- (3) 糸 番 手 経 30番手双糸 緯 30番手双糸
- (4) 色 相 ネイビー、ゴールド、オレンジ、レッド
- (5) マジックテープ 黒 YKK製

### 3 製品概要

- (1) この腕章に使用する材料及び付属品は全般にわたって十分検査が実施され、キズ、むら、斑点、汚れ、その他外観を損ねるようなものがあってはならない。縫製は縫い飛び、縫いハズレ等の無いよう充分配慮すること。
- (2) 腕章の表生地については指定のものとし、縦7.5cm・横16cmの仕上がりとする。
- (3) 腕章の裏面は指定のマジックテープ（オス）を使用し、縁はカガリ縫いとする。
- (4) 表示する文字、形状は別図のとおり。
- (5) 本仕様書の内容に疑義が生じた場合は必ず担当者と協議すること。

- 防火服腕章（隊表示）（左肩部下段） 大きさ 750 mm×1600 mm



- 1 消防隊 生地色ネイビー・丸ゴシ文字イエロー（反射文字）



- 2 救助隊 生地色オレンジ・丸ゴシ文字 黒（反射文字）



- 3 指揮隊 生地色レッド・丸ゴシ文字 黒（反射文字）



- 4 調査 生地色ゴールド・丸ゴシ文字 黒（反射文字）

